

第1回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

準2級 (A)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 式典ではおおむね静粛が保たれた。
2 将来に禍根を残しかねない。
3 武道で克己心を養う。
4 食文化の変遷の跡をたどる。
5 天下統一の覇業を成し遂げる。
6 踏切で事故が頻発している。
7 ハエが伝染病を媒介する。
8 チームの興廃がかかる一戦だった。
9 彼を昇進させるのは時期尚早だ。
10 教唆されて犯行におよぶ。
11 様々な問題が顕在化してきた。
12 地殻変動によって山脈ができた。
13 先輩がけんかの仲裁に入った。
14 湖畔でしばし涼をとる。
15 公共の施設を拡充する。
16 逃亡した容疑者の行方を探索する。
17 凡庸な応募作品が大半を占めた。
18 実験に酢酸を使用する。
19 東西貿易の要衝にあたる。
20 喪中のため出席を辞退した。
21 山の中腹に棚田が広がる。
22 焼き上がった皿を窯から取り出す。
23 軒先に蚊柱が立っている。
24 古いしきたりを煩わしく思う。
25 げたの鼻緒をすげかえる。
26 海に臨むホテルに泊まる。
27 音楽が渴いた心を癒やす。
28 睡眠不足で肌荒れになる。
29 夕映えの空をからすが飛んでいく。
30 口幅ったいことを言う。

(二) 次の漢字の部首を記せ。(10) 1×10

〈例〉菜 門
1 麻
2 疑
3 街
4 亭
5 耗
6 呉
7 弊
8 辞
9 准
10 叙

(三) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア〜オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 衆寡
2 漆黒
3 開廷
4 未踏
5 諭旨
6 任免
7 賠償
8 撤兵
9 醜態
10 旋回

(四) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

問1 後の□内のひらがなを漢字にして1〜10に入れ、四字熟語を完成せよ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。(20) 2×10

- ア 巧言 1 色
イ 天下泰 2
ウ 一所 3 命
エ 呉 4 同舟
オ 当意 5 妙
カ 6 止千万
キ 和洋 7 衷
ク 多事多 8
ケ 9 用貧乏
コ 物情 10 然

えつ・き・けん・しょう
せつ・そう・そく・たん
へい・れい

問2 次の11〜15の意味にあてはまるものを問1のア〜コの四字熟語から一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 11 仲の悪い者が一つ所にいること。
12 何でもひととおりこなすが大成しないこと。
13 非常にくだらないこと。
14 うわべを取り繕ってへつらうこと。
15 世の中がよく治まり穏やかなさま。

準2級

(A)

この面の設問(五)～(九)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

(五) 次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対義語

類義語

- | | |
|------|-------|
| 1 淡泊 | 6 適切 |
| 2 怠惰 | 7 殊勲 |
| 3 特殊 | 8 屈指 |
| 4 仙境 | 9 丁寧 |
| 5 清浄 | 10 邸宅 |

おだく・きんべん・ぞっかい
だとう・たんねん・てがら
のうこう・ばつぐん・ふへん
やしき

(六) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(20) 2×10

- 1 野生動物の濫カクを防ぐ。
- 2 猫が毛を逆立てて威カクする。
- 3 投稿した俳句が掲サイされた。
- 4 ひとときわ異サイを放つ存在だ。
- 5 別荘に一月タイ在した。
- 6 アパートの賃タイ契約を交わす。
- 7 言キユウすることを避ける。
- 8 不キユウの名作を読む。
- 9 タテのものを横にもしない。
- 10 会いたくて矢もタテもたまらない。

(七) 次の各文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。

(10) 2×5

- 1 余剰人員を策減するため、社員に優遇措置を提示して退職者を募る。
- 2 社会の高齢化に伴って老人福祉に携わる労働者の受要が増大した。
- 3 業者から集賄したことを疑われる議員が報道陣を前に潔白を訴えた。
- 4 大胆な筆遣いの新進画家の作品に対して絶賛と告評とが相半ばしている。
- 5 早期解決が予想された事件の捜査が難航し迷突入りの様相を呈してきた。

(八) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。

(10) 2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 1 耳をスマセば風の音が聞こえる。
- 2 魚を焦がして台所がクサクなった。
- 3 湯船に深々と身をシズメル。
- 4 常務が経理部長をカネル。
- 5 薬剤を水でウスメて使用する。

(九) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(50) 2×25

- 1 ガンコな性格は昔と変わらない。
- 2 ソウダイな自然が眼前に広がる。
- 3 各地で大きなハンキョウを呼んだ。
- 4 現状が十分にハアクされていない。
- 5 絹織物の町としてハンエイした。

6 不正をモクニンしない。

7 センドのよい魚が店頭に並ぶ。

8 差があり過ぎてヒカクにならない。

9 詳しい説明はカツアイします。

10 キュウケイ通りの判決が下された。

11 商業ホゲイは禁止されている。

12 さび止め用のトリョウを使う。

13 山頂に立つとチョウボウが開ける。

14 ついに優勝旗をダツカンした。

15 緊張して心臓がハレツしそうになる。

16 町内のボンオドリ大会に参加する。

17 お気に入りの赤いアマグツを履く。

18 家業をツぐ決心をした。

19 イクエにもおわびいたします。

20 放置自転車が歩道をセバめている。

21 道がぬかるんで足元がスベリやすい。

22 赤字のアノウめをする。

23 商店街がサビれて見る影もない。

24 善を勧め悪をコらす。

25 下手なサルシバイを演じる。